

支部だより

京都支部の近況

今年の夏は予想以上の猛暑になりました。会員の皆さんは本展に向け頑張つて居られる事と思います。

京都支部は一九九一年(平成三年)発足で、岡崎好支部長他八名で発足しました。平成四年には第十五回の新日美展京都巡回展を初めて開催しました。以来順調に今日に至って居りますが、京都支部の近況をお知らせします。

今の京都支部は本部会員十五名、支部会員三名、計十八名(男性四名・女性十四名)です。皆、絵が好きなのは勿論、どちらかと言えば、和気あいあいタイプです。発足当時から京都支部と言っても地域が兵庫、大阪、奈良、福井、京都と言う広範囲の会員の為、支部展や巡回展の時に来場者から、京都支部と言うより関西支部と言う感じですねと言われます。

今年度の活動として三月には京都府文化博物館で第十六回支部展を開催しました。六月には一泊研修会を開催しました。(滋賀県マキノ町)この研修会では、ペンションが貸切だったので、のびのびと批評会や懇親会も思う存分皆で言い合つて好評でした。マキノ町は琵琶湖の北に位置し、茅葺の民家や川のせせらぎ等また夜にはホテルを見に行つたりと、自然豊かな環境に全然大いに満足の研修会となりました。スケッチ等も自由に、銘々が場所を選び、暑さも忘れて描きました。

来年の三月には、小品展を西宮で開催する予定です。今の京都支部の課題として、もう少し頻繁にスケッチ会や勉強会を出来たらと思います。現状では難しく年に一・二回の研修会で、皆が少しでも沢山集まれるように開催するのが精一杯です。

京都支部も高齢化になりつつあり又新会員の確保もなかなか難しいのが現状です。しかし一番年長の北口支部長が頑張つて居られる姿を見て、我々も後に続くのと大きな励みになっています。今後、会員同志の親睦を図ると共に、各自が新日美の会員としての、自覚と誇りを持って精進したいと思えます。支部事務局 四方公子

広島支部 五人展開催



六月二十九日、七月四日迄、府中市内の備後芸術の館 来夢来人一階のメイン会場で五人展を開催した。絵画は見栄えを考え、20、30号をメインに展示、

小品は工芸作品の背後に、バランスよく展示(合計5点)した。大勢の入場者を得て成功裡に終えることが出来た。

来夢来人一階は、一階、四階まで有名作家の書、絵画、彫刻、工芸、陶芸が常設展示され頻繁に入れ替わる。入場者が多く見ごたえのある会場である。案内状も来夢来人一階で作成してくれ、会場費も無料を提供してくれるので有難い。経営者に何故このような優遇をされるのか訪ねたことがある。すると、備後芸術の館の理念は、備後には優秀な芸術家が沢山いる、にも拘らず作品は勿論名前すら知らない人が多い。それを世の人々に知って貰い共に文化の興隆を計る。と答えが返ってきた。

なぜか日展系の展示が多い中、今回初めて新日美広島五人展が、それに一石を投じることが出来たと喜んで居る。次回も同時期に開催を予定している。

前原専一

第二十九回東京支部展

第二十九回東京支部展が去る七月十三日、十九日の間、東京・池袋の芸術劇場展示室で開催されました。

場所がらもあつて入りもよく、約七百名の観客を集め、まずまずの成果を上げることが出来ました。

十四名の会員が出展、出展数三十二点、加えるに陶芸数点。風景画、静物画、人物画、抽象画ありで、バラエティに富んだ賑やかな展覧会となりました。

今回の特徴は何と言っても新人の活躍です。めきめき腕を上げ、日ごろの努力の跡をたつぷり見せていただきました。もちろんベテランの方は、それぞれに独自の世界創りに一生懸命です。

ただ残念なのは、数名の方が病氣その他の事情あつて出展できなかったことです。例年力作を寄せられていた方々の作品が見られないのは、なんといつても淋しい。一日も早く健康を回復なさつて、また力作をお寄せ下さい。お待ちしております。

やはり展覧会は、新人、ベテラン、老若、相そろつて作品を展示することで一段と面白くなるものです。

なお、十七日の土曜日には中尾会長がお見えになり、つぶさに各人の作品を見、それぞれに有益なアドバイスを頂きました。総じて、各人各様に独自の絵画創りに励み、レベルが一段と上がったのお褒めにあずかりました。

そのあと、隣接するビアホールで懇親会を開きました。各支部からの会員諸氏のご参加を頂き、会是一段と賑やかなものになりました。色々とご批評も頂き、本当にありがとうございます。

ございました。支部員一同、今後一段と制作に励み、次回はさらに充実した展覧会と致したいと思います。何卒、よろしくお願ひします

東京支部長 大石 亨

新日美小品展をふりかえつて



猛暑がいくぶんやわらいだ九月十二日、有楽町東京交通会館で新日美小品展が始まった。記録的な暑さのせい、出品予定者の方も体調を崩したりで出品者は十六名でした

絵画二十八点と荒木さんの陶芸作品も数点飾られ、まとまりのよい展示だった。顔なじみになり毎回足を運んで下さる方もいて、なんといつても交通の便の良い会場は貴重である。作品は華をテーマにしたものが多く今年にはひまわりが三、四あり、それぞれ個性的でよかつたと思う。八号以下の作品は部屋に飾るのに適当なサイズで勉強になった。埼玉西支部の小品展も銀座で同時開催され、両方を行き来して楽しむことが出来た。この後は例年より一カ月早まった本展に向け頑張りたい。

事業部 住佐美紗子

個展案内

小高峯夫絵画展  
10月7日~12日  
11時~18時  
ギャラリーR+  
TEL080-2616-1991  
川越市連雀町 15-8

清水ヒロミ水彩画展  
10月15日~31日  
西八王子駅前  
ギャラリーカフェ  
「HANABI」